

品質保証の実施結果報告書
(令和6年度上期報告)

RFS発6第37号
令和6年10月30日

むつ市長
山本 知也 殿

リサイクル燃料貯蔵株式会社
代表取締役社長
高橋 泰成

リサイクル燃料備蓄センター周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第11条第1項の規定に基づく細則第6条第1項の品質保証の実施結果について別紙のとおり報告します。

リサイクル燃料備蓄センター品質保証の実施結果
(令和6年度上期報告)

品質マネジメントシステムに係る実施結果

1. 保安活動の実施

(1) 品質方針の設定、周知

社長は、5月31日に2024年度マネジメントレビューを実施し、必要な改善事項を抽出した。また、品質方針及び施設管理方針を、事業開始後の内容へと見直すため、8月8日に臨時のマネジメントレビューを実施した。

社長は、見直した品質方針及び施設管理方針を9月10日に社内に掲示するとともに、社内イントラに掲載して周知した。

(2) 品質目標の設定、周知

使用済燃料備蓄センター長、各部長、各グループマネージャーはそれぞれ品質方針と整合した品質目標を設定した。各グループマネージャーは自身が設定した品質目標をグループ員に周知するとともに、各層で品質目標を達成するためのアクションプランを実行し、その結果を評価した。

(3) 社長による評価

社長は、以下のマネジメントレビューを通じ、品質マネジメントシステムの実効性が維持されていることについて評価を実施した。

(実施日)

・2024年度マネジメントレビュー：5月31日

臨時マネジメントレビュー：8月8日

(4) 主要な業務の実施状況

①設備の維持管理

・施設管理マニュアルに基づき、各設備の点検・補修を実施した。

②新プロセスの検討及びマニュアル化

・事業開始に向け新たなプロセス（貯蔵管理、放射線等管理、緊急時の措置）の検討を行い、これらを規定したマニュアルを作成した。

③使用前事業者検査

・使用前事業者検査を実施し、NRAによるチーム検査を受検した。

④防災訓練

・緊急時に備えた防災訓練を2回実施し、このうち1回はNRAと連携した訓練を実施した。

⑤金属キャスク受け入れ準備状況の最終確認

・各部署における、不適合の処置完了状況、マニュアルの整備状況、使用前事業者検査の実施状況等を保安委員会に諮り、金属キャスクの受け入れ準備が整っていることを確認した。

⑥金属キャスク受け入れ

・9月26日に柏崎刈羽原子力発電所から使用済燃料を収納した金属キャスク1基を受け入れた。

(5) 内部監査

2023年度の内部監査結果を、2024年度マネジメントレビューで報告した。

(指摘事項なし、改善要望事項3件)

2024年度の内部監査計画を作成した。(これに基づき2024年度の内部監査を下期に実施する)

(6) 不適合管理 (是正処置を含む)

不適合等管理マニュアルに基づき、CAP委員会 (通称CAP2; 原則毎週火曜日) を開催し、不適合について審議し、その対応を決定・処置及び記録した。なお、不適合の発生状況 (件数) は弊社ホームページに掲載している。

(7) 未然防止処置

不適合等管理マニュアルに基づくリスク情報共有会議 (通称CAP1; 原則毎週金曜日) 及び外部コミュニケーションマニュアルに基づく技術情報検討会議を開催し、未然防止情報について審議し、その対応を決定・処置及び記録した。

(8) 教育・訓練

教育及び訓練マニュアルに基づき、個別業務 (貯蔵管理、施設管理、放射線管理、緊急時の措置等) を実施する要員の力量評価を行い、力量を持てるように教育・訓練を実施するとともに、保安活動に従事する者に必要な保安教育 (関係法令及び保安規定の遵守に関する事、使用済燃料貯蔵施設の構造、性能及び操作に関する事、放射線管理等に関する事等) を実施した。

2. その他

(1) 安全大会の開催

安全大会を、当社及び協力会社の社員を対象として、6月26日に開催した。

(参加者: 約55人)

(2) 品質月間行事の実施

期間中 (上期) の品質月間行事に係る活動はなかった。